

地球環境と再生エネルギー・資源の将来展望 —我が国のIT・エレクトロニクス産業が果たす役割—

- 主催：電子材料・デバイス技術専門委員会
- 担当部署：知的基盤部
- 参加者数：約80名

概要

電子材料・デバイス技術専門委員会（委員長：島 顕洋氏／三菱電機(株)）では、IT・エレクトロニクス産業の今後の発展にとって重要と考えられる電子材料・デバイス技術の先端技術動向について、大学研究機関と連携して調査研究活動を実施しています。国内の関連産業のさらなる発展に向け、また各社のビジネスにおける飛躍の契機に役立てていただくため、昨年度に引き続き技術フォーラムを開催しました。今回のフォーラムでは、今後の日本のエネルギー成長戦略について、また基幹エネルギーとして期待される

太陽光発電について講演いただくとともに、太陽光発電や携帯端末の利用に期待される環境発電、電気自動車等の活用が期待されるリチウムイオン2次電池などの再生可能エネルギー、レアメタルの現状や展望、レアアースレスモーターの開発状況など、地球環境の視点から6件の講演を企画しました。

フォーラムは、電子材料デバイス技術専門委員会の島委員長による開会挨拶の後、金丸幹事（(独)産業技術総合研究所）の司会により、以下のプログラムで進められました。

プログラム

- 「再生可能エネルギーによる成長ビジネスとその社会展望」
柏木孝夫氏（東京工業大学総合研究院 ソリューション研究機構 教授）
- 「太陽電池産業の今後の成長 原発事故後の太陽光発電の役割」
—スマートグリッドからグローバルエネルギーシステムへ—
桑野幸徳氏（太陽光発電技術研究組合 理事長）
- 「グリーンイノベーションのための環境発電」
鈴木雄二氏（東京大学 大学院工学系研究科機械工学専攻 教授）
- 「リチウムイオン二次電池の最新開発状況」
小林弘典氏（(独)産業技術総合研究所
ユビキタスエネルギー研究部門 蓄電デバイス研究グループ 研究グループ長）
- 「材料資源の立場からレアメタルの現状と展望」
中村繁夫氏（アドバンストマテリアルジャパン(株) 代表取締役社長）
- 「車載用レアアースレスモーターの開発状況」
大穀晃裕氏（三菱電機(株) 先端技術総合研究所 グループマネージャー）

